



MAISON JOSEPH DROUHIN NEWS

～メゾン・ジョゼフ・ドルーアン ブルゴーニュ現地ニュース～

from France Bourgogne

みなさん、こんにちは！

ブルゴーニュでは寒い日が続いています…。氷点下にならなければマシ、みたいな寒さです。一方、畑ではそろそろ春に向けて剪定作業がスピードアップしています。今年はどうなるのか、今から楽しみです♪

さて、今月は新しくなったドルーアンのラベルについてご紹介しましょう。昨年の9月から、現在世界各国で新ラベルに移行中。「あれ？???ニセモノ買ったかな？」なんてビックリしないように是非ご覧くださいね！



【写真 ミュジニー 旧ラベル】



【写真 ミュジニー 新ラベル】

……と、脅かしつつ、実はバツと見で違いが分かるのはロゴの色くらいで、ラベルは間違い探しができそうなくらいの控えめな変化です（笑）。

「あんまり分からない？それはよかった！ほんのちょっとモダンにしたかっただけなんですよ。それに『変化』したんじゃなくて、『進化』したんです！（笑）」

と説明してくれたのは広報のマチューさん。でも、ほんのちょっとならどうして新しくしたんですか？

「2005年に先代のロベール・ドルーアンが代表から一線を退いて、三男のフレデリックが跡を継ぎました。今までのラベルは先々代のモーリスの時代、50年も前のものだったんですよ！それで、40代の若い社長が新しい時代を引き継いでいく、会社も新しい世代に入りました、ということをラベルに込めてみたんです。」

なるほど～。ドルーアンは兄弟4人で運営していますが、みんな40代の働き盛りですものね。では、間違い探しをしてみましょうか？ラベルで分かりやすいのはロゴの色ですね。赤から黄色になりました。

「ドルーアンではキャップシールを昔から赤ワインは赤、白ワインは黄色にしていたんです。今では珍しくないですが、30～40年前はあまりなかったんですよ。それに、赤いキャップシールはよく見掛けても、黄色いキャップシールは本当に珍しくて、お客様にとってドルーアンのカラーイメージは黄色になったんです。」



Joseph Drouhin

L'ÉLÉGANCE NATURELLE
DES GRANDS BOURGOGNES

【写真 ドルーアン 新ロゴ】

赤ワインも造っているのに！？

「そうなんですよ、赤ワインも造っているし、そのキャップシールはちゃんと赤なのに！それに黄色って太陽を連想させますよね。私たちは栽培にビオダイナミを導入しています。太陽、つまり自然と共生していますよ、そういうメッセージも込めています。」

その他はいかがでしょう？

「ライオンの台座のデザインを少しシンプルにして、逆にシッポはもうちょっと細かく描きました。あと、文字ですね。以前はもうちょっと横に寝た感じだったのを少し起き上がらせてみました。」



MAISON JOSEPH DROUHIN NEWS

～メゾン・ジョゼフ・ドルーアン ブルゴーニュ現地ニュース～

from France Bourgogne

文字を起こしたのは、ラベルにスペースがなくなっちゃったとか…？

「いえいえ（笑）新ラベルの文字は、樽の側面に文字を入れるステンシルのデザインを採り入れたんです。ドルーアンではひと樽ごとに側面にAOCと一緒に『Joseph Drouhin』って描いているんですが、以前のロゴのフォントだとステンシルができなくて、昔から製作しやすいようにステンシルだけ少しデザインを変えていたんですよ。しかも特製。今回ラベルを一新するに当たって、デザインをちょっとモダンにしつつ、ずっと昔から使っている伝統があって馴染み深いステンシルのフォントにしてみたんです。以前のロゴはどこにでもあるフォントだけど、今回はちょっとオリジナリティーがあるでしょ？ え？ステンシルをどれくらい使っているかって？うーん…。ずーっとです。いつ製作したんでしょうねえ。これ以外の資料はなくて。少なくとも50年は使っているでしょうね。」

へー。現代的な技術を取り入れつつ、伝統を大切にするドルーアンらしさがワインだけでなくラベルにも表現されているんですね！

【写真 ステンシル1】

これがそのステンシルです。裏話ですが、50年以上使っていたロゴのデザインの元のステンシルが壊れてしまったので、こちらは今週届いたばかりの新品の2代目です！



【写真 ステンシル1】

【写真 ステンシルと樽】

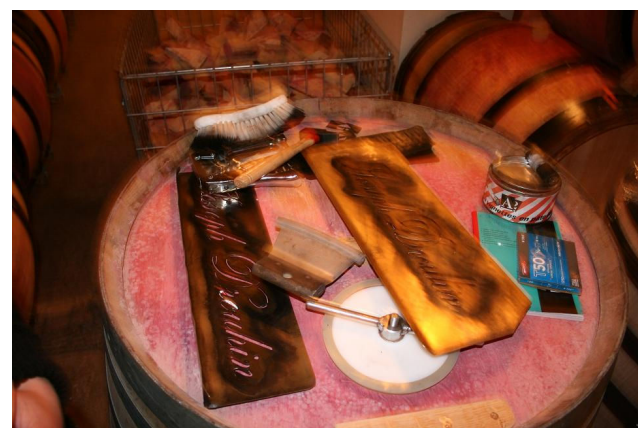
こうやって樽の側面に当ててインクで塗っていきます。手モデルは昨年7月に着任したカーヴの現場監督メラニーさん。とってもチャーミングな女性です。以前このレポートにご登場いただいた先代のジャン＝マルクさんは昨年お亡くなりになってしまったのです…（泣）。



【写真 ステンシルと樽】

【写真 ステンシルと作業場】

さあ、お話をロゴに戻しましょう。



【写真 ステンシルと作業場】



MAISON JOSEPH DROUHIN NEWS

～メゾン・ジョゼフ・ドルーアン ブルゴーニュ現地ニュース～

from France Bourgogne

「現代的な技術といえばバックラベルのQRコード。読み取れば、そのワインの造りやヴィンテージの特徴やテイस्टینگコメントまで一発で分かるようになります！フランス語、英語版は新ラベルの導入と同時に切り替えしました。」

QRコードとは画期的ですね！でも機械オンチのフランス人には使いこなせないような... (笑)

「はい、まったくその通りで (笑) でもフランスでもここ2年くらいQRコードが普及して来ました。ワインのラベルでは私の知っている範囲では今のところドルーアンだけです。これからどんどん増えると思いますよ。既に普及しているアメリカでは大好評です。実はこのアイデア、日本のインポーターの三国ワインさんからヒントを得たんです。日本のバックラベルには数年前からQRコードがついていて、ドルーアン社のホームページに飛べるようになっています。そうそう、今年には日本語版もできる予定です！日本のドルーアンファンの皆さん、もうワイン売り場で悩むことがなくなります」

どれどれ、どんなページに飛ぶんですか... (フランス語版を閲覧中)。うわー、すごい情報量ですね！ ワイン愛好家には知りたいことがみんな書いてあってたまらないですね！

うーん、でもあれもこれも飲みたくなっちゃって、どっちにするか迷っちゃうかも！？ え？両方買えばいいですか？ (笑) それもテロワールの違いを飲み比べられて面白いかもしれないけど。その前に新ラベル、完全に切り替えが済んで旧ラベルが売り場から消えてしまう前に新旧両方購入して家で間違い探しをしてみます♪

広報担当者

マチューさんのお奨めワイン！

メゾン・ジョゼフ・ドルーアン /ラフォーレ ブルゴーニュ ピノ・ノアール
Maison Joseph Drouhin / LAFORET Bourgogne Pinot Noir



今回は新ラベルの製作で昨年大忙しだった広報のマチューさんにご登場いただきましょう。お奨めはラフォーレ ブルゴーニュ ピノ・ノアールです。

「僕にとっては愉しみのワインっていうイメージが強いですね。のど越しがよくてスルスル飲みちゃいますが、偉大なブルゴーニュの赤ワインの特徴が全部出ています。価格的にも手ごろだし、これからブルゴーニュ・ワインを学んでみたい、これから少しずつ飲んでみたい、という方のデビューにふさわしいワインですね。口当たりがよくて、フルーティーで (特にフランボワーズやカシスなどのベリー系の小果実)、心地よくて、柔らかく、タンニンは控えめです。13～14℃と普通の赤ワインよりちょっと冷やして飲むのが僕は好きです。ビーフなど赤身系のお肉のグリルに合いますが、お魚だってイケますよ！マグロとかカジキマグロとか鮭とか...。あ、でもお魚もグリルがいいですね。」

うーん、お料理好きのマチューさん (平日も奥様と交代で食事の準備をしているらしい) が言うのと説得力があります。しかもビーフとか鮭のグリルって、日本式に言えば焼肉と鮭の塩焼きじゃないですか！これなら今晚からでも試せそう。そういった意味でも手軽に飲めそうなワインですね。

参考上代価格 (税別) : オープン価格 Vintage : 2008

